

園だより 6月

見よ、それは極めて良かった。

創世記 1章 3 1節

今年のゴールデンウィークも初夏を思わせるような暖かさに恵まれ、各ご家庭におかれましても有意義な時間をお過ごしになられたことと思います。こどもたちとお話をしていると、家族で楽しい時間を過ごしたことをたくさん聞くことができました。こどもたちの成長にとって、かけがえのない時間となったことと思います。

この時期の園庭では、こどもたちが園庭の花壇の土を掘り起こしたり、プランターを持ち上げたりする姿が見られます。そうです、こどもたちの人気者「だんごむし」を探しているのです。だんごむしを見つけると、「だんごむしがいた！」と大きな声で嬉しそうに教えてくれます。男の子も、女の子もだんごむしを素手で触れることができます。少し抵抗のある子も、だんごむしをつついて丸まる様子を見るうちに、そのかわいらしさからか、自然と手に乗せられるようになっていきます。不思議なことですね。手のひらに乗せたり、手押し車に乗せたり、カップに入れたりして、嬉しそうに見せに来てくれます。また、桜の木の下には小さなさくらんぼの実が落ちています。直径5mmほどの小さな実ですが、下を向いて歩いていると見つけることができます。この時期にしか出会えない自然の恵みです。こどもたちは、その自然の恵みを探し、触れ、時間を忘れるほど夢中になって遊んでいます。一人で探していても、ふと気がつくとき周りには仲間がいて、同じ体験をし、共感し合っています。そうした時間は、こどもたちにとって心を動かす大切な遊びとなっています。

年中組は木場公園、年長組は猿江公園で親子遠足を行いました。お忙しい中、保護者の皆様にはお時間を作っていただき、ありがとうございました。親子で遊んでいるときのこどもたちの笑顔、お弁当を食べているときの笑顔など、こどもたちも保護者の皆様も、たくさんの素敵な笑顔を見せてくださいました。新年度が始まり、こどもたち、そして保護者の皆様の不安も少しずつ和らいできたことと思います。また、保護者同士の良い交流の機会にもなったのではないのでしょうか。江東親睦会にも、多くのご家族にご参加いただきました。こどもたちだけでも約250名の参加があり、大変賑やかな会となりました。園行事や江東センターのプログラムにも、ぜひこれからもご参加いただき、周りの方々との絆を深めながら、より楽しい幼稚園生活を送っていただければと思います。

まもなく梅雨の時期を迎え、プール活動も始まります。この時期ならではの体験を大切にしながら、日々の保育を進めてまいります。今月もどうぞよろしくお願いいたします。

園長 草分 俊一